

「橋のある暮らしを考えましょう in京都」を開催しました

【日時】平成29年 3月 4日(土) 10:00~17:00
 【場所】京都駅ビル駅前広場(ホテルグランヴィア京都前)
 【目的】京都府下には、約13,000の橋があり、20年後には50年以上経過する橋が約8割となります。
 その橋を、みなさまとともに末永く大切に使う事を考える機会として「橋のある暮らしを考えましょう in京都」を開催いたしました。
 また、五条大橋の長寿もお祝いしました。

【主催】国土交通省 近畿地方整備局 京都国道事務所
 【共催】京都府道路メンテナンス会議
 ※メンバー：近畿地方整備局、地方公共団体(京都府、各市町村)、道路公社、高速道路会社、京都技術サポートセンター

参加者のみなさんに橋のことやインフラについて考えて頂きました。

子供たちに道路パトロールカーに乗るなどの体験をして頂きました。中でもレンガアーチ、橋梁模型が完成したときはとても嬉しそうでした。



道路パトロールカーに乗ろう



レンガアーチを作ろう



橋梁模型に挑戦

「五条大橋の長寿祝い」には、京都女子大学の学生に参加して頂き「五条大橋 58歳 おめでとう！」のかけ声とパフォーマンスで盛り上げて頂きました。



チアリーディング部 GALAXIE



ダンスクラブ Unlimited∞



京炎 そでふれ！ 京小町

五条大橋に近い中学校の吹奏楽部に「長寿を祝う」演奏を頂きました。また、今、流行の「恋ダンス」や「もし五条大橋がなかったらの寸劇」などを披露頂きました。



開晴中学校 吹奏楽部



会場の様子



下京中学校 吹奏楽部



「まゆまる」と「シモンちゃん」
が参加してくれました



インフラの現状と老朽化対策



「五条大橋をきれいにする会」
五条大橋への思い



「京都府」
橋を守る取り組み



リーフレットを多くの方に
受け取って頂きました

「橋のある暮らしを考えましょう in京都」 京都国道事務所

国道1号 五条大橋

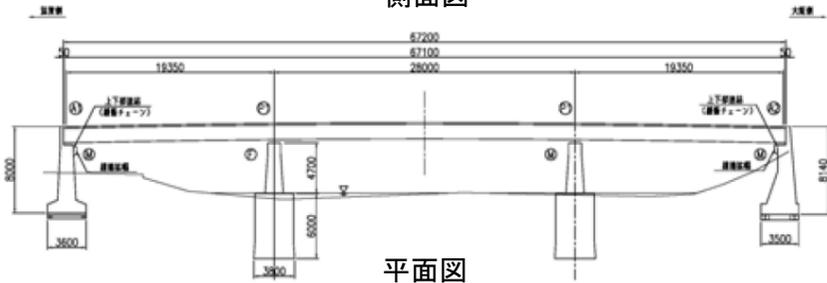
橋の歴史

平安時代、現在の五条通は六条坊門小路と呼ばれていました。六条坊門小路の鴨川には橋が無く、豊臣秀吉が天正18年(1590年)に当時の五条通(現松原通)の橋を、現在の場所に移建しました。現在の橋になるまでには、洪水・大火などで幾度か改築されています。明治時代は木製の幅6mの橋でしたが、昭和34年(1959年)に架け替えられ、今の姿になりました。

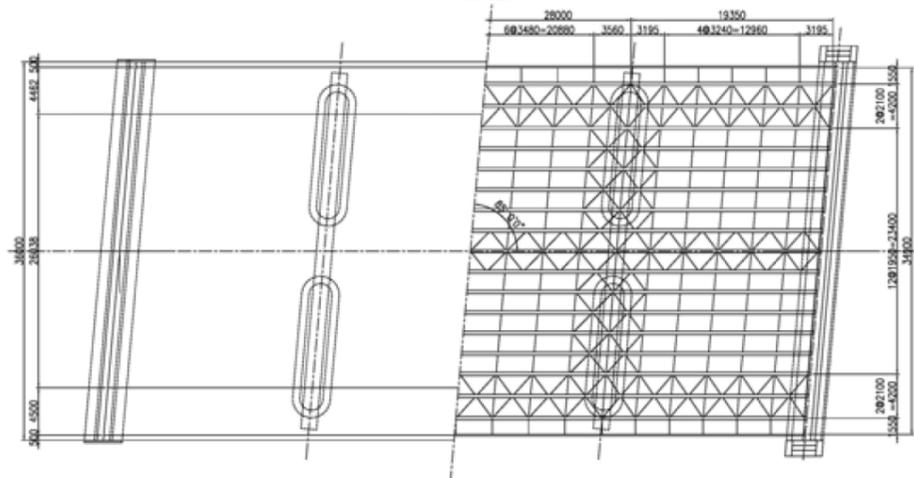
概要

橋長 : 67.2m、 全幅員 : 36.0m、 完成 : 昭和34年3月

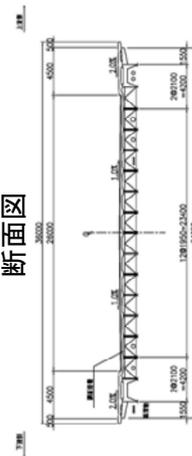
側面図



平面図



断面図



明治時代



平成27年

